

# 5カ国・地域に委員設置

## 次回開催は来年、ブラジル候補に

### 世界ウチナンチュ・ビジネス・ネットワーク

【ホノルル3日池間聡】「第二回世界ウチナンチュ・ビジネス・ネットワーク・ワークショップ」(主催・りゅうぎん国際化振興財団、ハワイ東西センター、ハワイ・ウチナンチュ・ビジネス・グループ、HUB、琉球新報社)は三日午後(日本時間四日午前)、ハワイ東西センターで総まとめのワークショップを開き、世界ウチナンチュ・ビジネス・ネットワーク(WUB)を設立することを決めた。具体的な運営方法などについては今後、詰めていく。また、会議を継続することも了承。次回は一九九八年に開かれ、開催地はブラジルが候補に挙がった。

### 会議継続を了承して閉幕

この日、決まったのは①営資金の集め方など、具体的な行動計画を詰めていくことになった。

し、各地域での地盤づくりを喚起する意見も出た。九カ国・地域から約七十人のウチナンチュ実業家が集まって開かれた今回のワークショップを企画・運営したHUBのロバート仲宗根会長は「大変、有意義な会議だった。ただ、これ

この窓口として五カ国・地域にネットワーク委員を置くことになった。委員には呉屋くーの二点。委員には呉屋守将氏(沖縄)、与那嶺真次氏(ブラジル)、当銘由洋氏(米本土)、ロバート仲宗根氏(ハワイ)、じゅんこ・バード・比嘉氏(フィリピン、アジア)の五氏が選ばれた。五氏がWUB委員会を構成。WUBの代表者選任、組織づくりや運営方法、運

WUBの本部事務局設置地域については、ウチナンチュの多いブラジル、ハワイ、そして県系人の母国である沖縄の三カ国・地域が候補に挙げられたが、決定には至らなかった。

総まとめのワークショップでは「ネットワークを世界に広げるのも大事だが、まずはそれぞれの国、地域で足元をしっかり固めることを忘れてはならない」と

は親ほくだけでなく、ビジネスを通してのネットワークなので、長続きするようみんなが自覚することが重要だ」と話した。